

5月20日 紀美野町出発集会・国民平和大行進

日本政府に禁止条約の署名・批准を!!



紀美野町出発集会



小川裕康町長

5月20日(火)紀美野町の平和大行進です。行進の前に、地元海南・海草原水協の中谷弘子さん(県新婦人)、吉本裕子さん(海南海草新婦人)、教職員組合海草支部岩橋さんと県事務局で、町長室と議会事務局に挨拶をおこないます。

5時30分、紀美野町庁舎前での平和大行進出発集会です。進行は、教職員組合海草支部の岩橋さんです。最初、県実行委員会から挨拶をします。「5月7日に橋本市を出発し、本日紀美野町で16自治体目です。約460人が歩いています。」と報告。又、ビキニ被災で魚が食べられなくなり国民的な原水爆禁止分運動が起こり、平和大行進も始まった事などを伝え、「被爆80年です。被爆の実相を広げて核兵器禁止条約に参加の日本をの声を広げていきましょう」と呼びかけました。

次いで、小川裕康町長が「ヒロシマ、ナガサキの惨劇から80年が経過しています。日本は唯一の戦争被爆国として恐怖と悲しみを全世界に発信してまいりました。しかし核兵器を保有する国は今なお存在しています。又、紛争が続く緊張と恐怖から解放されず、恒久平和を願う人々を落胆させております。私たちは平和な世界の実現に向けて強い決意を持ち核兵器の廃絶に取り組まなければなりません。」と挨拶します。続いて、七良谷光町議会議員からペナントの受け取りです。美濃良和町議会議員からは「今、あちこちで戦争がやられている。戦争はたくさんお金を使う。日本もGDP1%以内だったのが今の首相はアメリカに言われ3%にと、1%5兆円、3%は15兆円、何処から持ってくるのか。圧倒的に撮られやすいのが社会保障費。私たちの暮らしも大変になっていくことが予想されます。」と連帯挨拶です。わかやま市民生協代表の白水幹人さんが決意表明をします。最後、海教組の廣井佐江子さんが集会アピールを読み上げます。平和大行進となります。平和大行進のアナウンスとシュプレヒコールを中谷弘子さんがおこないます。参加者もコールし歩きます。

県原水協事務局